

2018年度 どうぶつたちの病院 事業報告

どうぶつたちの病院では、2018年度も対馬および東京の2つのプロジェクトにおいて、ツシマヤマネコをはじめ野生動物の保護活動と飼育動物の適正飼養普及活動などに取り組みました。

2018年度は救護件数、交通事故件数が少なく、比較的落ち着いた1年となりました。そんな中で、対馬全体における体制の変化等を感じる1年となりました。法人が目指す理念を遂行できるよう、各関係機関に働きかけると共に、我々の存在意義を示すことが出来るだけのスキルを身につけていかなければと強く感じる1年となりました。

地域に根ざし、地域と共に、どうぶつたちの病院は今後も活動を続けてまいります。引き続きご支援いただけますようよろしくお願いいたします。

それでは、2018年度の活動の概要を報告いたします。

対馬プロジェクト

長崎県対馬に生息し絶滅の危機に瀕するツシマヤマネコの保護活動のため、本法人は対馬動物医療センターを運営し獣医師、動物看護師が常駐しています。2018年度は以下の事業に取り組みました。

■ ツシマヤマネコ保護事業 ■

現在のツシマヤマネコの個体数（推定）

70 または 100 頭

2018年度 保護された個体数 2頭

① ゴウ（愛称）

- ・2018年11月18日、頭部外傷で保護しました。
- ・2014年にも頭部外傷で保護された経緯があり、4年ぶりの再会となりました。
- ・2018年12月5日、傷の完治を確認し、放獣しました。



保護時外観



放獣時外観

② Ft-84

- ・2018年12月1日、錯誤捕獲により保護しました。
- ・検査の結果、衰弱と貧血を確認したため保護収容しました。
- ・2019年1月23日、野生復帰可能と判断し、放獣しました。

交通事故による死亡 4頭

●本法人の職員を対馬野生生物保護センター（以下、TWCC）に常駐させ、TWCCで飼育されているツシマヤマネコの飼育、緊急的な保護、診療および健康診断の補助、野生で保護された個体の救護や治療の補助などを行いました（環境省受託事業）。

展示個体の福馬は2018年12月31日に突如フラツキ症状を示すようになりました。展示を中止し、入院室での治療・経過観察を行いました。幸い、命に別状はありませんが、展示スペースでの飼育は困難と判断し、別室にて飼育中です。対馬の風を感じながら穏やかに余生を過ごして貰いたいと思っています。

ナミちゃん（非公開個体、先天性心疾患）は心疾患があるとは思えないほど元気一杯です。性格は人見知り、それでもトレーニングの成果で心を開いてくれるようになりました。ごはんが大好きなのでトレーニングには意欲的です。現在、定期検査に備えてのキャリー捕獲トレーニングと、触診や簡単な検査が出来るようにボディタッチトレーニングを進めています。



大理石でくつろぐ福馬



トレーニングに臨むナミ

●国が進めるツシマヤマネコ野生復帰事業に向けたツシマヤマネコの生息環境整備のため、飼い主不明のネコ（ノラネコ、世話ネコ）の対策を実施しました。ツシマヤマネコの生息を脅かす原因のひとつであるノラネコからの感染症を防ぎ、将来的にはノラネコの個体数を減らすための措置です。対馬地区ネコ適正飼養推進連絡協議会と集落が協力して実施体制を構築し、本法人がネコの捕獲・運搬・不妊処置やワクチン接種、マイクロチップ挿入等の医療処置を実施し、捕獲集落にて放獣しました。今年度は上県町志多留（したる）、豊玉町千尋藻（ちろも）、美津島町鶏知焼松（けちやけまつ）、厳原町上槻（こうつき）で実施し、合計30頭のネコを処置しました（対馬市及び環境省受託事業）。



ネコ捕獲送迎風景

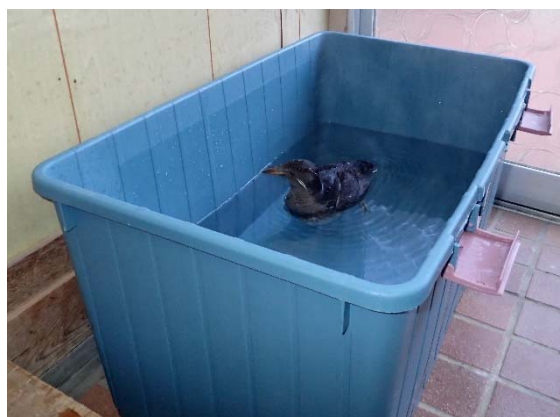
●また、飼い主不明のネコだけでなく、飼養ネコに対しても、適正飼養推進~人とネコの共生をめざし、のべ107頭のネコに対して、不妊処置、ワクチンやマイクロチップ挿入等を行いました（対馬地区ネコ適正飼養推進連絡協議会による「ネコ生活サポートキャンペーン」事業）。

■ ツシマヤマネコ以外の野生動物保護事業 ■

本法人対馬動物医療センターにて2件の野生動物を救護しました。

内訳：ハイタカ（1）、ウトウ（1）

予後：野生復帰1 終生飼育3羽



ウトウ

■ 一般診療事業 ■

対馬市北部にある唯一の動物病院として、本法人対馬動物医療センターにて1,590件の診療を実施しました。

■ 教育普及活動 ■

● 動物愛護週間イベント「わんにゃんフェスティバル」

（9月15日対馬市内／九州地方環境事務所および長崎県獣医師会对馬支部主催、対馬振興局及び対馬市共催）を開催運営しました（来場者数261名）。



紙芝居ブース



対州馬乗馬体験

● 飼養犬の適正飼養のためのイベント「ドッグスポーツショーとしつけ相談」

前述のわんにゃんフェスティバルと同日開催で運営しました。ドッグスポーツの1つであるオビディエンスの実演、犬の飼い主からの相談対応および保護犬とのふれあいを行いました。



ドッグスポーツショー



保護犬とのふれあいタイム

● ツシマヤマネコを飼育している動物園でのイベント参加

京都市動物園 「ヤマネコ博覧会」(10月20～21日)

ブースを出展しての、活動紹介のパネル展示とオリジナル商品の販売のほか、「ツシマヤマネコクイズラリー」を実施しました。

園内に設置されたツシマヤマネコのクイズに回答し、回答に応じたツシマヤマネコのパーツの消しゴムハンコをエコバックに押ししてもらい、参加者オリジナルのツシマヤマネコエコバックを作っていました。このバッグを利用するとき、ツシマヤマネコのことを思いだしてくれるでしょうか。



井の頭自然文化園 「やまねこ祭」(10月27～28日)

ブース出展のほか、井の頭自然文化園オリジナル(企画・制作・文：NPO どうぶつたちの病院)の「ツシマヤマネコかるた」を使ってかるた大会を行い、楽しみながらツシマヤマネコの特徴や現状を知っていただきました。



● 実習生の受け入れ

対馬動物医療センターおよび対馬野生生物保護センター（TWCC）にて、地元高校生の実習（職場体験等）の受け入れを行いました。



一般公開棟にて No.23 の給餌体験の様子



餌準備作業の様子

東京プロジェクト

世界自然遺産である小笠原の野生を守る活動を 2005～2014 年まで実施しました。2011 年からは、福島のニホンザルの健康調査等に取り組みました。

東京プロジェクトについては 2019 年度より休止します。

収支報告

| | | (単位：円) |
|-----------------|---|--------------|
| 収入の部 | | |
| 会費収入 | | 110,000 |
| 寄付金収入 | | 480,759 |
| 助成金収入 | | 0 |
| 事業収入 | | 34,667,807 |
| その他（雑収入、受取利息など） | | 1,165 |
| 計 | | 35,259,731 |
| 支出の部 | | |
| 事業費 | | |
| 対馬プロジェクト | | 27,889,858 |
| 受託事業 | ▼ | (15,881,278) |
| 独自事業（動物診療） | ▼ | (11,418,338) |
| 普及啓発事業 | ▼ | (590,242) |
| 東京プロジェクト | | 0 |
| 管理費 | | 6,284,112 |
| 計 | | 34,173,970 |
| 当期収支差額 | | 1,085,761 |
| 前期繰越収支差額 | | 37,113,967 |
| 次期繰越収支差額 | | 38,199,728 |

2018 年度事業報告は以上です。